



## 第12回日本医学英語教育学会総会(2009年7月18-19日)を終えて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2010-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 亀田, 政則 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000514">https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000514</a>

## 第12回日本医学英語教育学会総会

### 第12回日本医学英語教育学会総会(2009年7月18-19日)を終えて

第12回総会会長 亀田 政則

#### はじめに

グローバルスタンダードに立った医学英語教育のありかたと国際コミュニケーション能力の育成をその創設目的とする日本医学英語教育学会(The Japan Society for Medical English Education)の2009年度総会は7月18-19日、福島県立医科大学看護学部棟を会場に開催された。

東北地区で初めて開催される総会であることを考慮し、(1)本学会の活動を紹介させていただきながら、(2)医学・看護学および医療関連科学においてもとめられる医学英語教育と国際コミュニケーション能力育成のありかたについて、さまざまな講演(基調講演、会長講演、一般演題)がなされた。さらにシンポジウムをとおして活発な質疑応答が展開された。ワークショップも予定時間を超過するほど充実したものとなり、参加者からも好評を得ることができた。参加者は東京を開催地とした場合と比べて少ないものとなったが、総じて充実した総会であったといえよう。

#### 反省点

総会には日本の国公立、および私立の医学部、看護学部などでファカリティとして働いているアメリカ合衆国、英国、オーストラリア等出身の教員と日本人の英語教員に比べて、今回はドイツと韓国からの研究者も参加し、グローバルスタンダードに立った医学英語教育と

国際コミュニケーション能力の育成が緊要な課題であることがいっそう明らかにされた。

しかしながら、福島県立医科大学は申し分ない会場設備をもっていながら、それを利用するに至るためのアクセスが悪いこと、大学内あるいは大学近辺に適切な宿泊施設がないことは、今後全国レベルの総会を開催するうえできわめて大きな問題であることもまた浮き彫りにされた総会であった。

#### 謝 辞

今回の総会にあたっては、福島県立医科大学からは学会開催援助金を、看護学部教員の皆様には総会両日に亘って多大な支援をいただきました。ここに感謝申し上げます。

○ 総会のプログラムについては次頁をご覧ください。

# 第12回日本医学英語教育学会総会 第1日目 (7月18日) プログラム

	第1会場 (N301)	第2会場 (S302)
10		
11		1045 評議員会 1115
12	1130 開会挨拶 1200 【基調講演】 医学英語教育の必要性和 必須の教育内容 座長：西澤 茂 (産業医科大学) 演者：植村研一 (浜松医科大学名誉教授, 日本医学英語教育学会名誉理事長, 松戸市病院事業総長)	
13	1300	1300 一般演題1《医学英語教育/Writing》 座長：一杉正仁 (獨協医科大学) 1. Helping Japanese Medical Researchers Reduce Errors in Writing Research Papers in English by Introducing a Self-Improvement Support System 三木昭三 (東京医科歯科大学) 2. 大学院生のためのジャンル・アプローチの医学英語論文の書き方 (A genre-based approach to medical journal paper writing and oral presentations for graduate students) 馬場幸子 (大阪大学)
14	1400 ワークショップ1《医学論文の書き方》 How to write like a native English-speaking expert in a specific field of medicine, ... but better -The best manuals, databases and the amazingly overlooked features of average computers- Raoul Breugelmans, Takayuki Oshimi,* Eric Hajime Jago,* Jason Khoh,* J. Patrick Barron (東京医科大学国際医学情報センター, 日本大学医学部医学企画・推進室)	1340 1350 一般演題2《看護英語教育》 座長：玉巻欣子 (近大姫路大学看護学部) 1. 看護師が感じている英語の必要性 岡田敦子 (東邦大学医学部看護学科) 2. クリティカルシンキング育成を目指して一看護生のための英語教材研究 鈴木光代 (愛媛県立医療技術大学看護学科) 3. 英語と専門科目の学習をデジタル・ストーリーで結ぶ 木村みどり (東京女子医科大学)
15		1450 1500 一般演題3《看護・コメディカル英語教育》 座長：平野美津子 (監獄クリストファー大学) 1. 看護生向け「院内通訳入門」科目内容の検討 鈴木美保 (済生会横浜市東部病院) 2. 授業実践報告：医療問題解決のためのシミュレーション授業とフィールドワーク 幸重美津子 (大阪大学医学系研究科) 3. 一般英語から医療英語へのブリッジ-コメディカル向け医療英語のテキストの分析と指導上の工夫 服部しのぶ (藤田保健衛生大学短期大学)
16	1600	1600 一般演題4《医学英語教育》 座長：西村月満 (北里大学) 1. 医科大学における英語コミュニケーション能力向上セミナーの試み 石川和信 (福島県立医科大学) 2. Carpe Diem: "Seize the Day" When a Travel Opportunity Arises Kenneth Nollet (福島県立医科大学附属病院), 他 3. 医学英語検定試験における主観的評価の重要性-パイロット試験アンケート調査の解析- 医学英語検定試験 解析・評価委員会
17	1715 議事総会 1800 第5回植村研一賞 授賞式	1710 懇親会のご案内 懇親会は、18日19:00~20:30に福島ビューホテルにて開催いたします。参加費は5,000円です。また参加者の移動用に医科大学からホテルまでバスを運行いたしますので、ぜひご利用ください。

第12回日本医学英語教育学会総会  
第2日目（7月19日）プログラム

第1会場 (N301)	
10	
11	
1130	<p><b>【会長講演】</b>  <b>On the First-Person Psychological Sentence in Pain Expressions</b>                      座長：菱田治子（聖路加看護大学）                      演者：亀田政則（福島県立医科大学総合科学教育研究センター）</p>
1200	
1230	<p><b>【特別招待講演】</b>  <b>医学英語と研究生活35年</b>                      座長：亀田政則（福島県立医科大学総合科学教育研究センター）                      演者：安保 徹（新潟大学大学院医歯学総合研究科 国際感染医学講座 教授）</p>
1300	
1345	<p><b>【シンポジウム】 医師・看護師の米国留学</b>                      座長：大石 実（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医師の臨床留学—ニューヨークのERで考えたこと— 加藤 陽一（Beth Israel Medical Center）</li> <li>2. 卒後1年目より行った米国家庭医療研修、 その成果と今後の課題 李 相一（茅ヶ崎徳洲会病院）</li> <li>3. 脳神経外科医教育についての日米の違い— メイヨークリニックでのクリニカルフェローシップで感じたこと 遠藤 俊毅（仙台医療センター）</li> <li>4. 研究を目的とした医師の留学—アイオワで学んだこと 原 元彦（帝京大学医学部）</li> <li>5. 看護師の留学方法 大石 実（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）</li> </ol>
1545	
1600	<p>開会挨拶</p>

第2会場 (S302)	
1000	<p><b>一般演題5《医学英語教育》</b> 座長：吉岡俊正（東京女子医科大学）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Bodies of Medical English Thomas Hardy（慶応義塾大学）、他</li> <li>2. Best-selling lies: Examining Fujiwara Masahiko's "Dignity of a Nation" for bad ideas about English-language teaching in Japan Christopher Holmes（東京大学医学部）</li> <li>3. Fair Assessment in Large English for Medical Purposes Classes: Implementing Peer Evaluation 倉本クリスティーン（九州大学医学部）</li> <li>4. Building on the "I Am Your Doctor" Project Peer Evaluation 野田小枝子（東京女子医科大学）、他</li> </ol>
1120	
1200	<p><b>一般演題6《医学英語教材開発》</b> 座長：内藤 永（旭川医科大学）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Because We Care: Concept of a new medical English textbook from an English educator 井上貞紀（藤田保健衛生大学）</li> <li>2. Because We Care: Concept of a new medical English textbook from an allied healthcare professional's educator 伊原 正（鈴鹿医療科学大学）</li> </ol>
1230	
1345	<p><b>ワークショップ 2《医療英会話》</b>  <b>Using 'emp-tmu.net' videos to teach medical English conversation</b>                      Eric Hajime Jego                      （日本大学医学部医学企画・推進室）</p>
1545	